

V.G 概輪だより

会報 第87号
発行日 平成23年12月31日
発行・編集 V・G 概輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介 、建前(方針)を重んじたまち高浜を訪ねる、旧吹田村

平成23年12月15日(水)
晴れ
JR吹田駅改札出口集合
順路 JR吹田駅→旭通り
商店街→旧屋が残るまちなみ→旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)(国重要文化財)→浜屋敷(吹田歴史文化まちづくりセンター)→高浜神社↓建前地蔵跡↓JR吹田駅

①旧西尾家住宅では、仙洞御料庄屋屋敷ポランテイアガイド 宮辻敏夫さん、岡村昇二さんに丁寧な説明をして頂きました。
②浜屋敷(吹田歴史文化まちづくりセンター)では、吹田歴史文化まちづくり協会のガイドボランティアの方々に館内外を説明していただきました。本堂に有り難う御座いました。

旧吹田村は、水と深いつながりがあります。縄文時代に、現在の大阪平野が河内湾であった頃、海沿いであったことを表す高浜、港を表す「津」がつく豊津などの地名が今に残っています。万葉集にも詠まれた滝のある垂水神社、地下水がビールの醸造に適しているとき、アサヒビールが工場を建設したという泉殿宮の逸話があります。

昔から吹田の中心として栄え吹田市発足の地で市庁舎が建てられました。JR吹田駅から始まる賑やかな旭通商店街を少し南へ進むと、市街地でありながら、今も茅葺きの旧家が残り、歴史的な景観が多く残っていると云えます。

旧西尾家住宅(国重要文化財)
内本町2丁目の住宅街の中にあるひとときわ目立つ高い塀に囲まれた大きな門構えの家、そこが旧仙洞御料(せんとうごりょう)庄屋旧西尾家住宅です。旧西尾家住宅は、仙洞御料庄屋を勤めた伝統と茶の湯の精神を感じさせる屋敷です。

数です。建前地蔵尊 数寄屋風を意識した主屋、茶道敷内家の指導 牧野富太郎の関与が伝えられる温室、著名建築家武田五一が和洋折衷の意匠を試みた離れなど多彩な建物からなり、文化性に富む優れた建築が伝えられています。



「浜屋敷」は、神崎川畔という立地、高浜町・南高浜町の「浜」という地名をとりいれ、お屋敷を重ねた愛称です。美しい白壁に囲まれた浜屋敷は、主屋、蔵棟、だんじり展示庫等からなり、主屋にはへっつい(かまど)のある土間や廻り縁に囲まれた座敷、板敷きの台所等がある。主屋の和室と蔵棟のギャラリー兼音楽室は貸室で一般利用でき、吹田発展伝承室では吹田の歴史や民話をパネルと映像で紹介している。だんじり庫には、江戸時代に建造された吹田のだんじりが一台展示され、一年ごとに入れ替わる。「浜屋敷」は吹田市の文化施設です。

当住宅は平成21年(一九九九年)12月8日、重要文化財に指定されました。仙洞御料とは天皇を讓位した上皇の所領地のことです、ここから皇室や伊勢神宮の新嘗祭(にいなめさい)などに、米や野菜のお供え物の神饌(しんせん)を献上してきました。西尾家は四、七、十代が庄屋を勤めたそうです。



設で、平成15年、歴史と文化のまちづくりにかかわる文化活動や交流の場として活用することを目的に、江戸末期の庄屋屋敷の寄付を受け、現在の姿に改修し再生された。S・O(詳しくは概輪HPでご覧ください)

カメラは友達
現代アートいっぱい島
岡山県宇野港からフェリーで20分。
香川県直島は、島全体が美術館。 S・N



2012年1月度行事予定
変わり行く「大阪北ヤード」
月 日：2012年1月18日(水曜日)
集合場所：JR大阪駅最上階(4階相当)金銀の時計のある「時空(とき)の広場」10:45 集合
順 路：JR大阪駅→JR大阪駅北開発地区→新年会会場へ→新年会
そ の 他：1) 多くの会員の参加をお願いします。
2) 新年の親睦会を予定しています。

2012年2月度行事予定
「世界一の梅品種を誇る梅林を訪ねよう」：万博公園
月 日：2012年2月23日(木日曜日)
集合場所：JR茨木駅改札出口10:30 集合
順 路：JR茨木駅4番バス乗り場 日本庭園前下車→万博公園→JR茨木(2010年3月にオープンした大阪万博の記念館入館予定)
そ の 他：1) NHK 朝7時の発表で午後降水確率50%以上の場合は中止します。
2) 弁当持参下さい。